

世羅町

保存版

防災

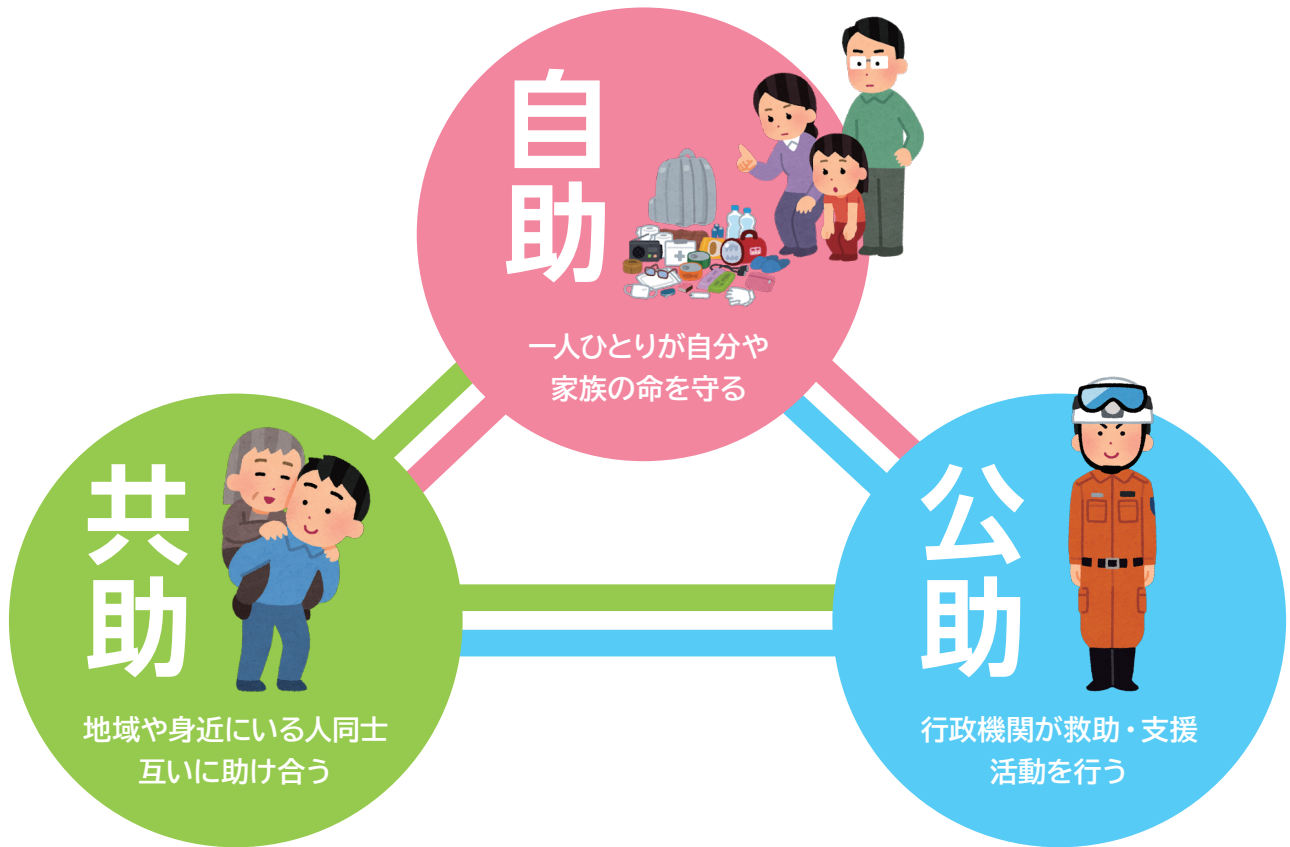
ハザードマップ

SERA TOWN DISASTER PREVENTION HAZARD MAP

目次

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| ■ はじめに …………… 01 | ■ 地震について知る …………… 10 |
| ■ 日頃の備え …………… 02 | ■ 指定緊急避難場所・指定避難所一覧 …………… 11 |
| ■ 災害時の防災行動を確認 …………… 03 | ■ 土砂災害・洪水ハザードマップの使い方 …………… 13 |
| ■ 警戒レベルと避難行動 …………… 04 | ■ 土砂災害・洪水ハザードマップ索引図 …………… 14 |
| ■ 水害について知る …………… 07 | ■ 土砂災害・洪水ハザードマップ …………… 15 |
| ■ 土砂災害について知る …………… 08 | ■ 災害時のための連絡MEMO …………… 裏表紙 |
| ■ 地震に備える …………… 09 | |

世羅町 令和6年2月発行



はじめに

この世羅町防災ハザードマップは、地域の災害リスクについて具体的に理解を深め、災害ごとの防災行動を確認し、実際の災害をイメージしながら、自らに適した防災行動やそのタイミングについて考えていただくために作成しました。

大規模な災害が発生した場合には、公助が行き届くまでに時間がかかってしまうことも想定されます。いざという時のために、日ごろからご家族はもちろん、ご近所や自主防災組織の方々など身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路などについて話し合って「自らの命は自ら守る(自助)」「地域住民で助け合う(共助)」という防災意識を高めましょう。

災害のつめあと

平成22年7月10日から14日にかけて、西日本に停滞する梅雨前線の活動が活発となり、7月10日20時から7月14日24時までの総降水量は多いところで450mmを超える大雨となりました。

世羅町においては、11日から15日の累加雨量は265mm、ピーク雨量101mm(7月14日 5:00~10:00の5時間)となり、芦田川がはん濫危険水位(2.70m)を超過、川尻地区では土石流が発生しました。この浸水害、土砂災害によって人的被害、住宅被害、道路、河川、農地、山林等の被害が発生しました。



平成22年7月の集中豪雨(世羅町川尻)
出典: 広島県防災課「平成22年7月豪雨による広島県の土砂災害」



日頃の備え

▶ 避難経路の確認

防災マップでお住まいの地域などの災害リスクを確認しましょう。



▶ 家の周りを点検・整備

雨水の排水溝などは水がたまらないように清掃をこまめにしましょう。



▶ 防災訓練に参加しましょう

もし今、災害が発生したら…。いざという時、より冷静に行動できるように、防災訓練などに積極的に参加しましょう。



▶ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空くりュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。重さは、大体男性15kg、女性10kgです。

■ まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (1日1人3リットル×3日) | <input type="checkbox"/> 靴・スリッパ | <input type="checkbox"/> ガムテープ・軍手 (人数分) |
| <input type="checkbox"/> 食料 (人数×3日) | <input type="checkbox"/> ホイッスル | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> 防寒具・アルミブランケット | <input type="checkbox"/> 救急セット |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | | |

※その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照⇒



▶ 家庭での備蓄品

各家庭で最低3日間、できれば1週間過ごせるよう、飲料水(1人1日3リットル)、食料等を備蓄しておきましょう。保存期間の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「回転備蓄方式(ローリングストック)」も効果的です。



家庭備蓄の例 (1週間分/大人2人の場合)

必需品

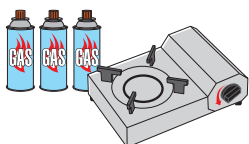
水 2L×6本×4箱

※1人1日およそ3L程度
(飲料水+調理用水)



カセットコンロ・
カセットボンベ×12本

※1人1週間およそ6本程度



主食 エネルギー 炭水化物

米 2kg×2袋

※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)

乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ)

・そうめん2袋(300g/袋)
・パスタ2袋(600g/袋)

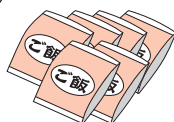


カップ麺類×6袋

パックご飯×6袋

その他(適宜)

・ロングライフ牛乳
・シリアル等



主菜 たんぱく質

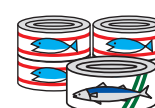
レトルト食品

・牛丼の素、カレー等18個
パスタソース6個



缶詰(肉・魚)

・お好みのもの18個



副菜・その他

日持ちする野菜類

・たまねぎ、じゃがいも等

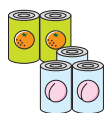
調味料

・お好みのもの

梅干、のり、乾燥わかめ等

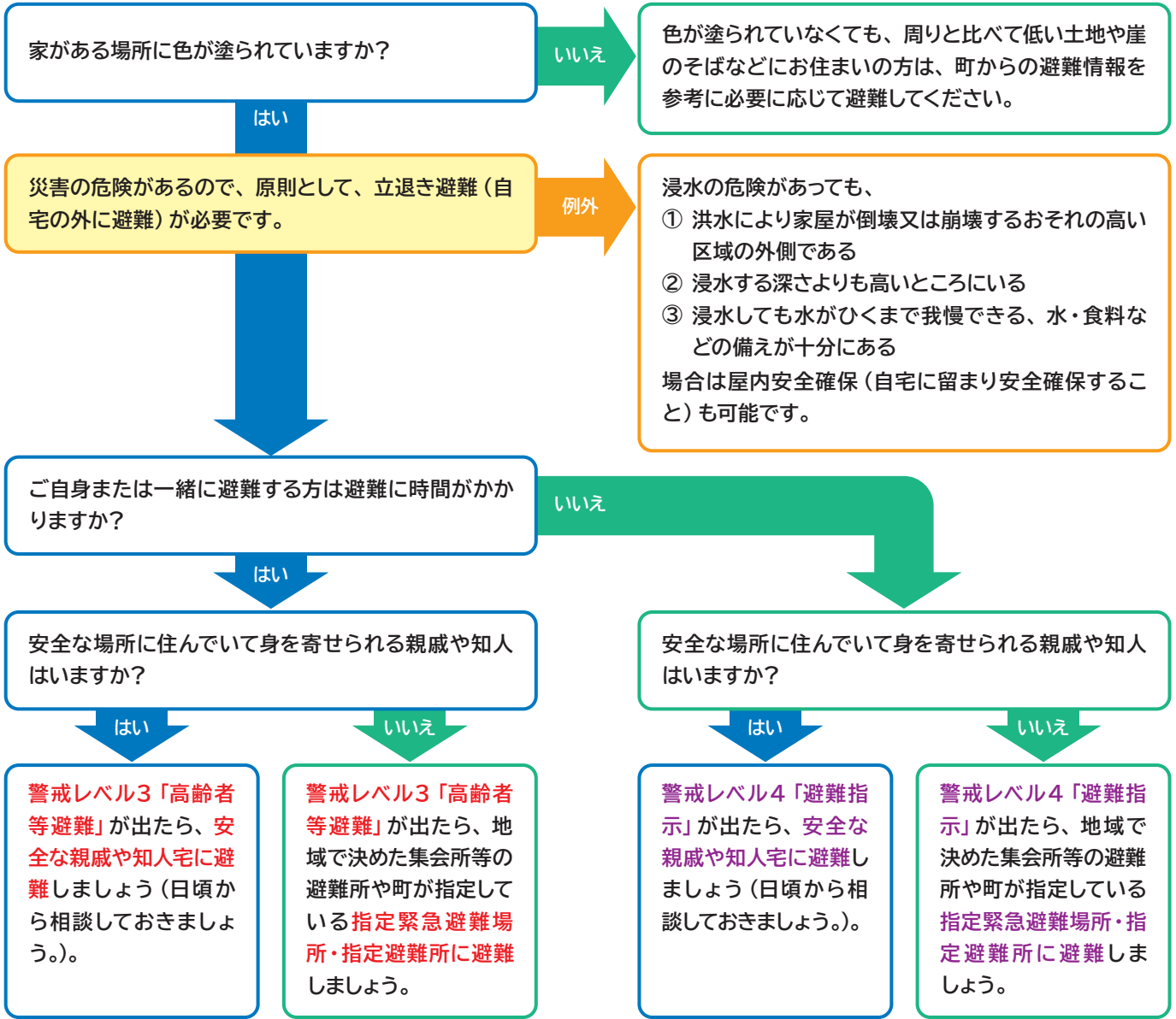
野菜ジュース、果物缶詰等

即席スープ等



！ 災害時の防災行動を確認

次のフローチャートや、防災マップの情報ページなどを参考にして災害時の防災行動を確認しましょう。



topic 逃げ遅れたと思ったら

急激な天候の変化など、早い段階で避難できず、最寄りの避難場所や警戒区域外へ避難するのが危険と感じた場合には、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

指定緊急避難所に限らず最寄りの高く頑丈な建物

自宅の2階以上で斜面から離れた部屋



！ 警戒レベルと避難行動

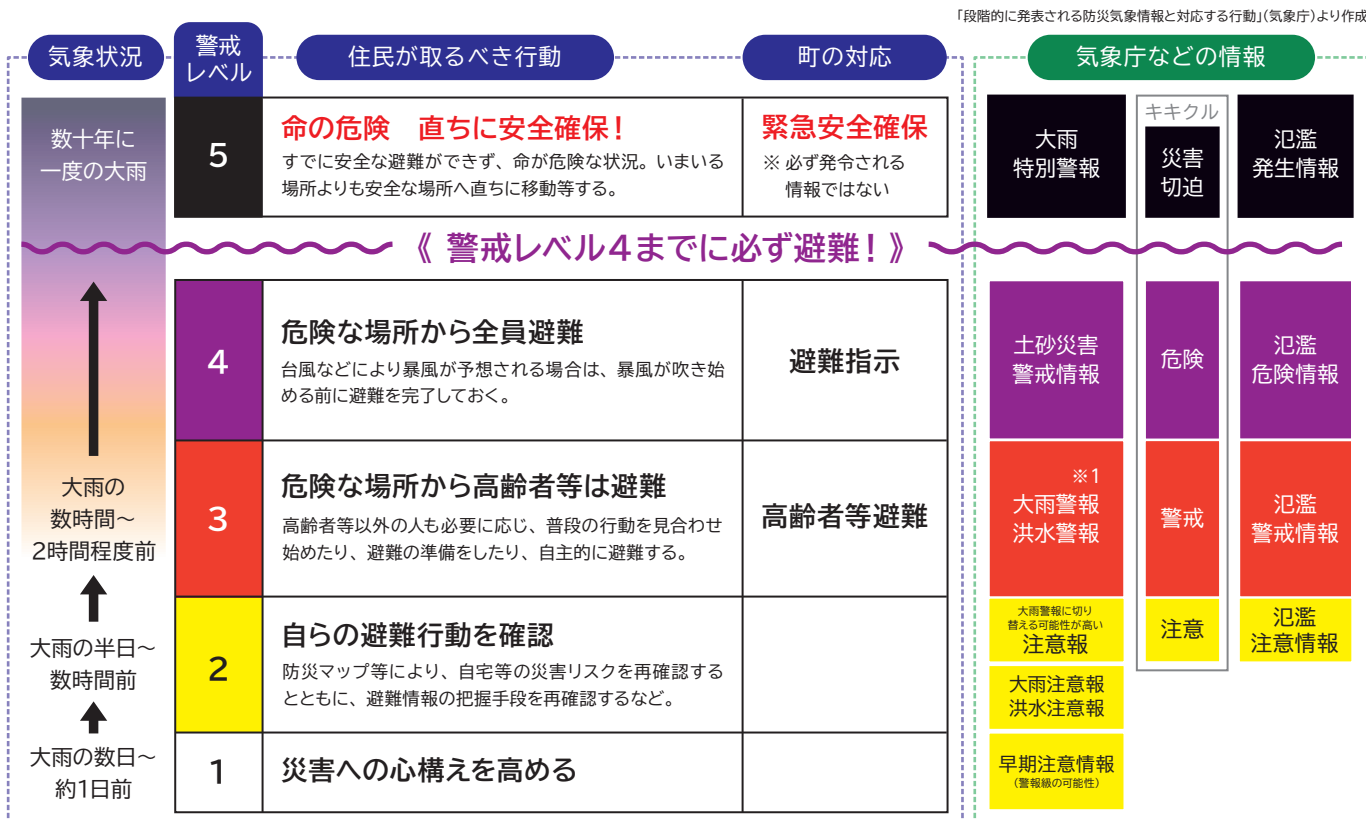
▶ 自分の命は自分で守る

町から高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）などが発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁から警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示などが発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。

キキクル
(危険度分布)



▶ 警戒レベルと防災気象情報



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

- ！ 警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ！ 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ！ 避難先は小中学校・自治センターではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

※ 緊急時に身を寄せる避難先は、安全な親戚・知人宅や、町が指定する「指定緊急避難場所」など様々です。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。
 ※ 「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。（小中学校、自治センターなど） ※P.11 参照
 ※ 災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため「指定避難所」に行きましょう。

警戒レベル1・警戒レベル2

気象庁などから発表される防災気象情報に注意

災害はいつ起きるかわかりません。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。

■ 自動配信されるもの (PUSH型)

エリアメール・緊急速報メール

携帯電話を利用した災害時専用の情報発信の仕組みです。気象庁が発信する緊急地震速報・津波警報及び自治体が発信する避難情報など、緊急かつ重要な情報を携帯電話に発信するものです。

防災行政無線

世羅町の行政情報や災害時の緊急放送などが流れます。世羅町では住民基本台帳の世帯主の方に、防災行政無線個別受信機1台を無償で貸与しています。避難情報なども発信。



デジタル防災行政無線
戸別受信機

外国人旅行者向け災害情報
Safety tips

自然災害の多い日本で、訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう、観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ。

対応言語：14か国語、15言語

Android



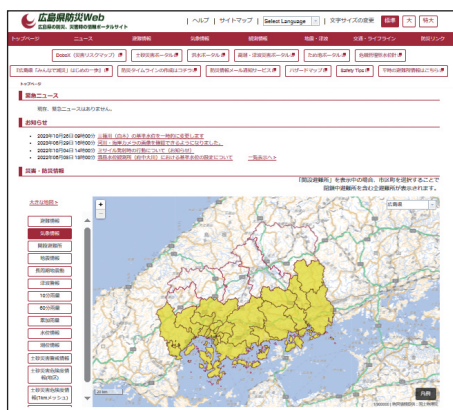
iPhone



■ 自身で情報収集するもの (PULL型)

広島県防災WEB

県内に発表された避難情報や、避難所情報、気象情報、河川の水位などの情報をリアルタイムで発信しています。



広島県防災WEB

検索



キキクル (危険度分布)

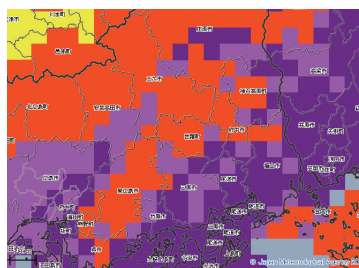
気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル (危険度分布)」を確認してください。紫の段階では、既に災害のおそれが高まっている状況です。住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

キキクル

検索

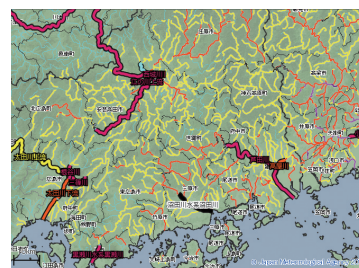


土砂キキクル (危険度分布)



崖・溪流の近くは危険

洪水キキクル (危険度分布)



河川沿いは危険

警戒レベル3

「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者など、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始

■ 高齢者等の避難に協力

高齢者や小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。特に、一人暮らしの高齢者や病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。

※避難に時間がかかる方は、雨が降る前や雨が弱い時に親戚や知人宅に早めに避難することも有効です。

**■ その他の人は避難の準備!****警戒レベル4**

「避難指示」が発令された危険な場所にいる人などは全員避難

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出すら危険な場合には屋内で安全を確保してください。

■ 複数で避難・隣近所に声をかけましょう!

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。

**■ 車での避難は控えましょう!**

走行できなくなる状況での車の避難はやめましょう。

**履物に注意しましょう!**

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

危険な場所は避けて避難しましょう!

がけ地、堤防や、ガード下などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。

歩ける深さに注意しましょう!

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさか腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

警戒レベル5

命の危険 直ちに安全確保! ※災害が発生した場合に必ず発令されるものではありません。

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとりましょう。

topic**孤立集落と生活必需品の備蓄**






道路崩壊や落橋によって交通手段が遮断されると、山間部では集落全体が孤立します。公的援助に時間がかかり、ライフラインの復旧も進まないことを想定し、山間部の家庭では1週間程度の水や食料、生活必需品を備蓄しておきましょう。また、集落においても通信設備や発電機等の機材や物資の備蓄をおこないましょう。



水害について知る

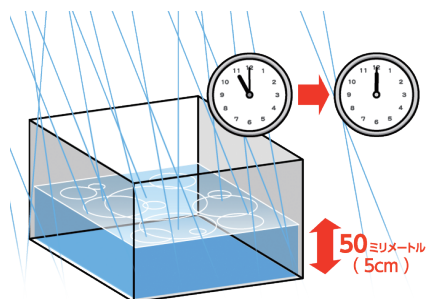
水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。梅雨期の大雨や台風などにより、一年の一月の雨量を超えるような雨が短時間で降ることがあります。台風などにより激しい雨が降ると、河川の急激な増水により社会生活に大きな影響を及ぼす河川の氾濫や山崩れなどの災害が発生します。

▶ 雨の強さと降り方（1時間雨量） ※ゲリラ豪雨などにより20mm～30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
				
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。	バケツをひっくり返した様に降る。	滝の様に降る。傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感。水しぶきで一面白っぽくなる。

▶ 1時間に50mmの雨とは

テレビの気象情報などを見ていると「1時間に〇〇ミリの大雨が…」と説明しているのを良く聞きますが、実際にイメージしにくいと思います。では1時間50ミリの雨とはどの程度の雨なのでしょう。



雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50mmの高さまでたまる」規模の雨です。



1時間傘を差していると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることになります。

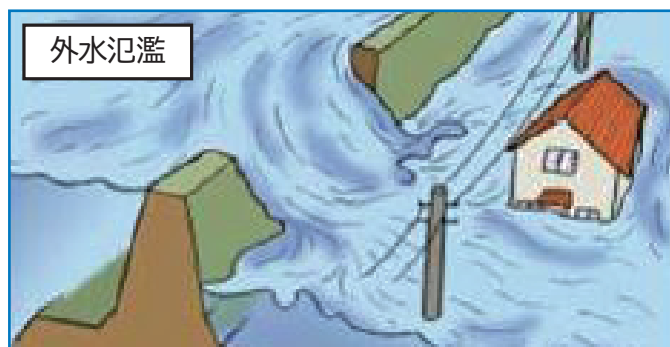


まわりの雨水があつまると川が増水します。

▶ 内水氾濫と外水氾濫



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲い掛かります。

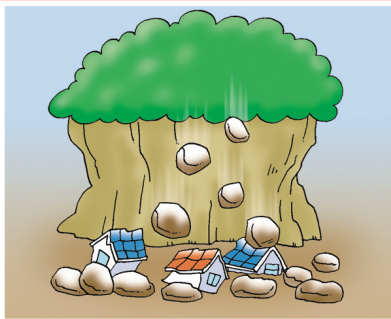
土砂災害について知る

土砂災害の種類

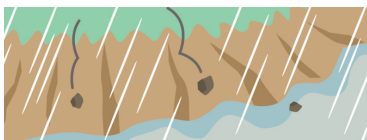
土砂災害には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があります。甚大な被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生の兆候を知ることが重要です。

がけ崩れ（急傾斜地崩壊）

急な斜面の土砂が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでがけ崩れが起きると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



前兆現象



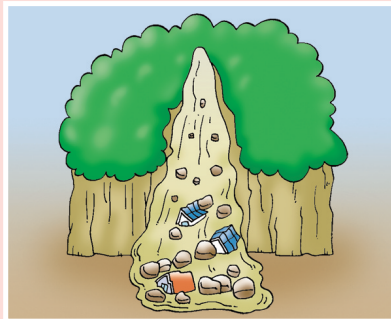
斜面（がけ）から小石がパラパラと落ちてくる



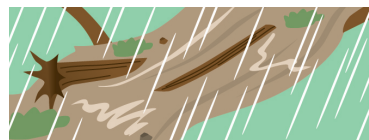
斜面（がけ）から急に水がわき出したり、わき水が濁る

土石流

谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下ることを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させる恐ろしい災害です。



前兆現象



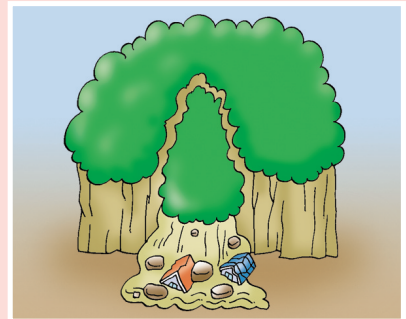
川が濁り、流木が一気に流れる



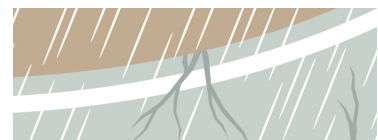
山鳴りがする

地すべり

地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動き出すことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畑が崩壊してしまうこともあります。



前兆現象



地面にひび割れができる



斜面の所々から急に水がわき出す

▶ 土砂災害（特別）警戒区域

土砂災害（特別）警戒区域の指定は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害から人命や財産を守るため、危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅の立地抑制等のソフト対策を充実させていくことを目的としています。

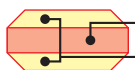
土砂災害警戒区域

▶ 土砂災害が想定される区域

土砂災害特別警戒区域

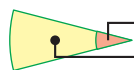
▶ 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れがあり、特定の開発行為の制限や建築物の構造規制を行う区域

急傾斜地



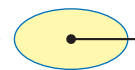
特別警戒区域
警戒区域

土石流



特別警戒区域
警戒区域

地すべり



警戒区域

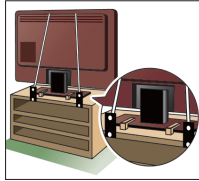
地震に備える

▶ 家具・家電の転倒防止対策

地震のゆれによる家具・家電等の転倒から命を守るため、寝室や通路にある家具などは、倒れないようにきちんと固定するか、安全な場所に移動させましょう。

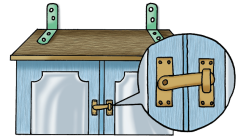
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。



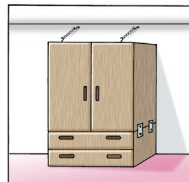
食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



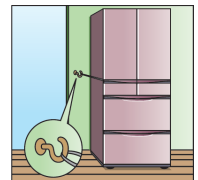
タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



▶ 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震が発生してから強い揺れが襲来するまでのごく短い時間を活用して、地震による被害を軽減しようとする情報です。緊急地震速報が鳴ったら「周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する。」

気象庁は、最大震度5弱以上が予想された場合で、震度4以上の揺れが予想される地域に対して緊急地震速報(警報)を発表します。地震速報は、次の方法などで専用の報知音とともに伝えられます。

テレビ



携帯電話・スマホ



防災行政無線



震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。



出典:気象庁「緊急地震速報」

▶ 耐震診断・耐震改修工事について

世羅町では、地震による住宅の倒壊などの被害を防止するため、耐震改修に係る費用の一部を補助する制度を創設しています。



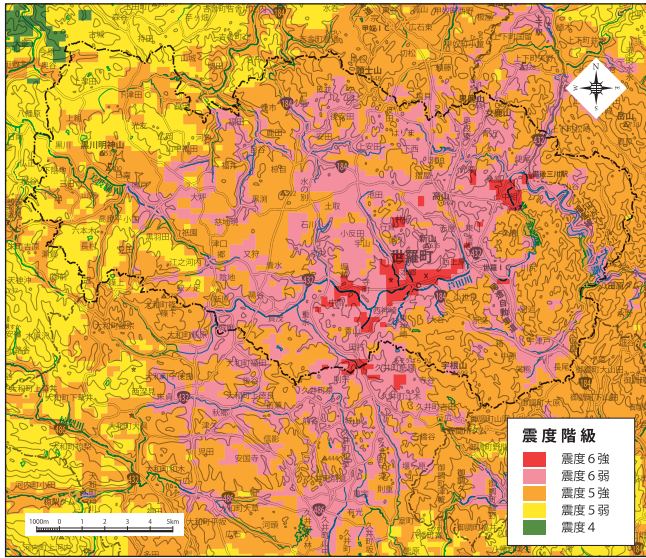
- 世羅町木造住宅耐震診断及び木造住宅耐震改修工事費補助事業
- 世羅町老朽住宅除去等事業
- 世羅町住宅リフォーム補助事業

※事前に補助要件を確認して申請してください。詳しくは建設課へお問合せください。

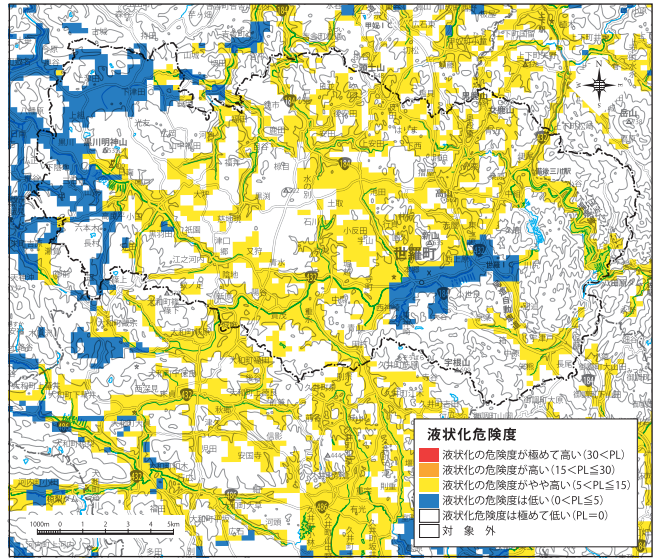


地震について知る

■ 震度分布図（世羅町直下地震）



■ 液状化危険度分布図（世羅町直下地震）

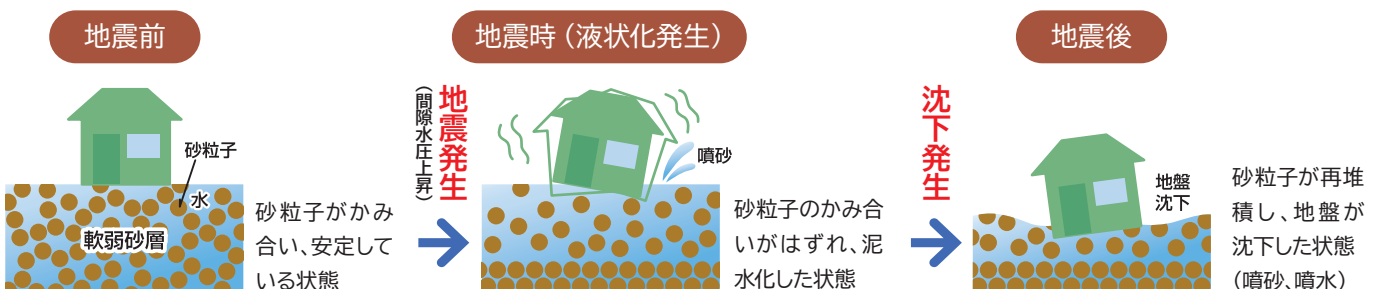


▶ 地震の揺れと想定される被害

震度	5弱	5強
人の体感・行動	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
屋内・屋外の状況	棚にある食器類や本が落ちたり、固定していない家具が移動することがある。	棚にある食器類や本で落ちるものが増える。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度	6弱	6強
人の体感・行動	立っていることが困難になる。 	立っていることができず、はわないと動くことができない。
屋内・屋外の状況	固定していない家具の大半が移動。倒れるものもあり、ドアが開かなくなることがある。 	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が増える。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物が増える。

▶ 液状化のメカニズム

液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体になってしまう現象で、地盤の上の建物を傾かせたり沈ませたりします。





指定緊急避難場所・指定避難所一覧

No.	指定緊急避難場所	指定避難所	名称	住所	洪水	土砂災害	地震
1		●	甲山小学校(屋内運動場)	小世良69-1	●	●	●
2	●		甲山小学校(グラウンド)	小世良69-1	●		●
3		●	甲山自治センター	西上原426-3	●	●	●
4		●	甲山農村環境改善センター	西上原123-1	●	●	●
5		●	甲山中学校(屋内運動場)	西上原1469-1	●	●	●
6	●		甲山中学校(グラウンド)	西上原1469-1	●	●	●
7		●	中央自治センター	東上原388-1	●	●	●
8	●		世羅町中央スポーツ広場	川尻1996-1	●	●	●
9		●	せらひがし小学校(屋内運動場)	川尻1987-2	●	●	●
10	●		せらひがし小学校(グラウンド)	川尻1987-2	●	●	●
11		●	伊尾自治センター	伊尾1969-1	●	●	●
12		●	伊尾自治センター(体育館)	伊尾1969-1	●	●	●
13	●		世羅町伊尾スポーツ広場	伊尾1969-1	●	●	●
14		●	東自治センター	別迫700-1	●	●	●
15		●	世羅の宿ひがし	別迫700-1	●	●	●
16		●	東自治センター(体育館)	別迫700-1	●	●	●
17	●		東自治センター(多目的広場)	別迫700-1	●		●
18	●		世羅町東スポーツ広場	別迫1111	●	●	●
19		●	宇津戸自治センター	宇津戸1491-1	●	●	●
20		●	宇津戸自治センター(体育館)	宇津戸1433-2	●	●	●
21	●		宇津戸自治センター(多目的広場)	宇津戸1433-2	●	●	●
22	●		世羅町宇津戸スポーツ広場	宇津戸838-1	●	●	●
23		●	大田自治センター	本郷891-4	●	●	●
24		●	世羅小学校(屋内運動場)	本郷891-1	●	●	●
25	●		世羅小学校(グラウンド)	本郷891-1	●	●	●
26		●	せら文化センター	寺町1158-3	●	●	●
27		●	世羅中学校(屋内運動場)	寺町961-2	●	●	●
28	●		世羅中学校(グラウンド)	寺町961-2	●	●	●
29	●		世羅中学校(第2グラウンド)	寺町1272-1	●		●
30	●		陽だまり公園	寺町1197	●	●	●
31		●	大見自治センター	安田45	●	●	●
32		●	大見自治センター(体育館)	安田45	●	●	●
33	●		大見自治センター(多目的広場)	安田45	●	●	●
34	●		世羅町大見スポーツ広場	安田409	●	●	●
35		●	津久志自治センター	黒淵3-2	●		●
36		●	津久志自治センター(体育館)	黒淵3-2	●	●	●
37	●		世羅町津久志スポーツ広場	黒淵3-2	●	●	●
38		●	西大田自治センター(体育館)	賀茂3242	●	●	●
39	●		世羅町西大田スポーツ広場	賀茂3260-3	●	●	●
40		●	西大田自治センター	重永62	●	●	●
41	●		西大田自治センター(多目的広場)	重永62	●	●	●
42		●	せら香遊ランド(屋内)	京丸809-3	●	●	●
43	●		せら香遊ランド(グラウンド)	京丸809-3	●	●	●
44		●	山福田自治センター	山中福田1822-2	●	●	●
45		●	山福田自治センター(体育館)	山中福田1822-2	●		●

No.	指定緊急避難場所	指定避難所	名称	住所	洪水	土砂災害	地震
46	●		世羅町山福田スポーツ広場	山中福田1882-2	●		●
47		●	小国自治センター	小国3381	●	●	●
48		●	せらにしタウンセンター	小国3381	●	●	●
49		●	せらにし小学校(屋内運動場)	小国4682	●	●	●
50	●		せらにし小学校(グラウンド)	小国4682	●	●	●
51		●	黒川自治センター	黒川10282-1	●		
52		●	黒川自治センター(別館)	黒川2569-1	●	●	●
53		●	せらにし青少年旅行村	黒川10527-14	●	●	
54	●		せらにし青少年旅行村(農村広場)	黒川10527-14	●	●	●
55		●	黒川自治センター(体育館)	黒川2569-1	●	●	●
56	●		世羅町黒川スポーツ広場	黒川2569-1	●	●	●
57	●		世羅西中学校(グラウンド)	黒川10144-4	●	●	●
58		●	世羅西中学校(屋内運動場)	黒川10144-4	●	●	●
59		●	津名自治センター	下津田577-1	●	●	●
60		●	津名自治センター(体育館)	下津田577-1	●	●	●
61	●		世羅町津田スポーツ広場	下津田577-1	●	●	●

※見直しにより変更する場合があります。

避難場所と避難所の違い

避難場所に逃げるべき時に、避難所へ間違えて避難すると命にかかります。避難場所と避難所は目的が大きく違うため、違いを確認してください。

避難場所

災害から逃げる
安全な場所



避難所

災害後に一時的に
生活する所



洪水

川が氾濫しても浸水しない高い場所
状況により開設場所が変わるので確認が必要!

土砂

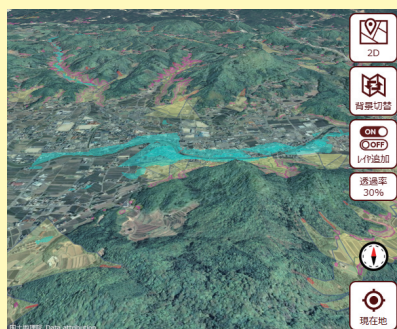
土砂災害(特別)警戒区域の外側の危険がない場所

学校・体育館など多くの人が寝泊まりできる場所

topic DoboX (ドボックス)

広島県が運用する「DoboX (ドボックス)」では、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の災害リスク情報や、公共土木施設等の情報を、3Dマップや地図上で確認することができます。

3Dマップでデータの重ね合わせ



地図上でのデータの重ね合わせ



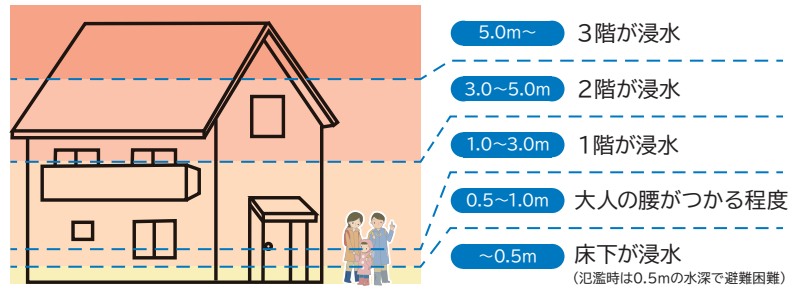
DoboX
土木×DX=ドボックス



土砂災害・洪水ハザードマップの使い方

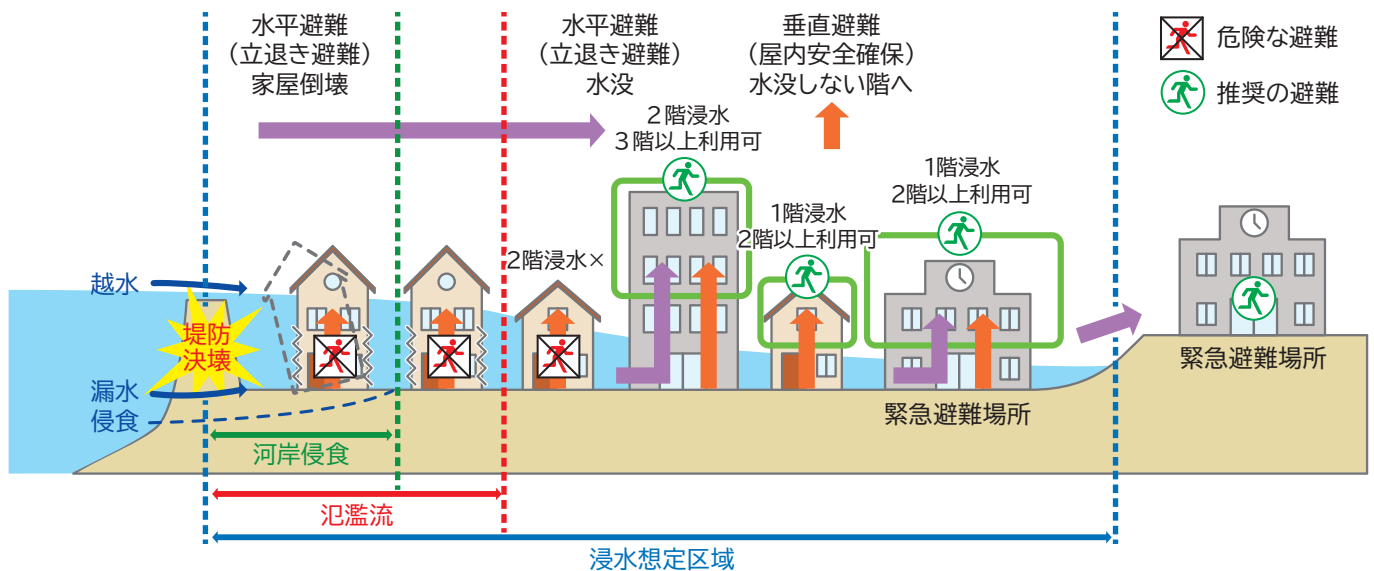
▶ 水深の目安

洪水や内水氾濫によって、市街地や家屋、田畑が水で覆われることを「浸水」といい、その深さ（浸水域の地面から水面までの高さ）を「浸水深」といいます。一般の家屋では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水する恐れがあります。



▶ 家屋倒壊等氾濫想定区域について

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防が決壊することで発生する激しい流れにより家屋などが流されるおそれのあるエリアです。



家屋倒壊等氾濫想定区域の種類

- 河岸侵食による家屋の構造に関係なく、土台ごと流されるおそれのあるエリア
- 氾濫流による木造家屋が流されるおそれのあるエリア

▶ 危険水位について

町では次の指標等を総合的に判断して避難に関する情報を発信します。

(令和6年2月現在)

水位危険度レベル

町から発する情報

必要な行動

命を守る行動

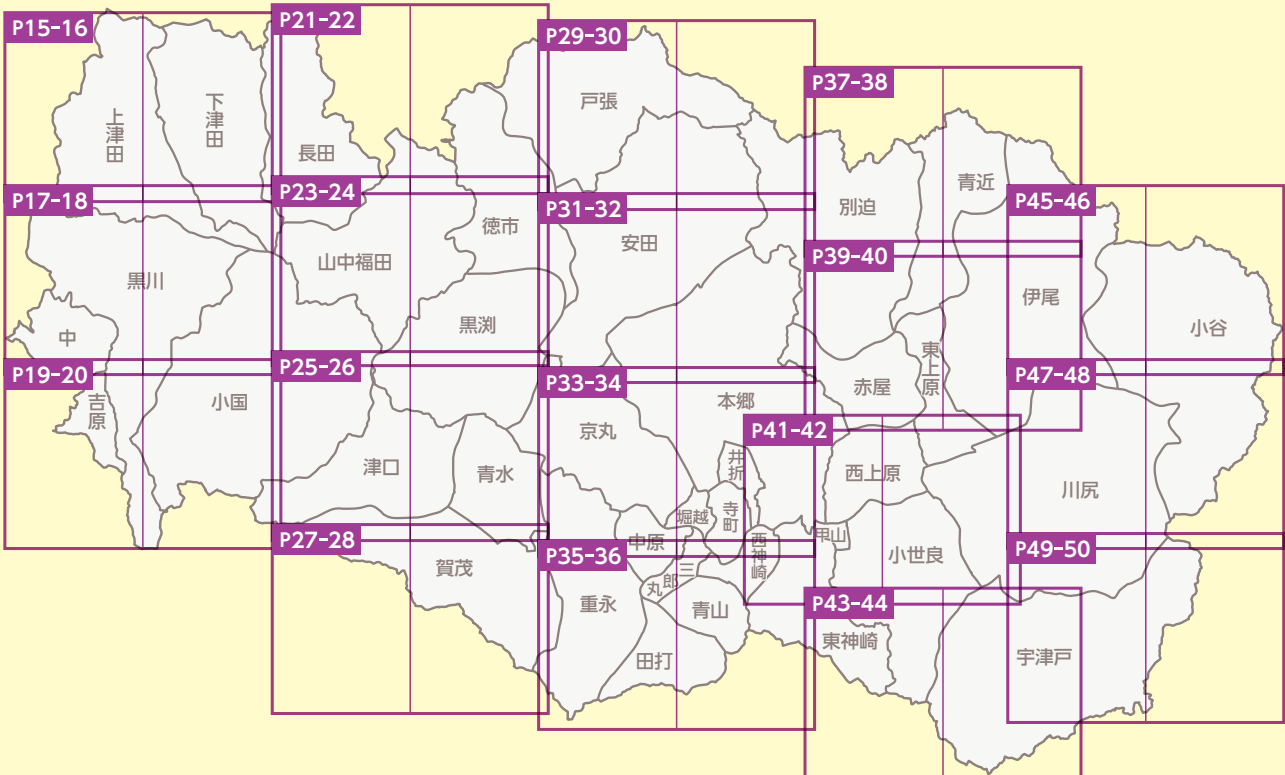
避難指示 → 安全なところへ直ちに避難

高齢者等避難 → 避難に時間を要する方は避難開始

広島県河川防災情報システム
芦田川河川監視カメラ (甲山)

観測所	甲山
河川水位等	河川名 芦田川
5 氾濫発生	3.44m
4 氾濫危険水位	2.65m
3 避難判断水位	2.25m
2 氾濫注意水位	1.95m
1 水防団待機水位	1.70m

土砂災害・洪水ハザードマップ索引図



洪水ハザードマップは、下の表に示した各河川について、水防法の規程により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

河川名	指定（公表）の前提となる降雨
芦田川（水位周知区間）	芦田川流域の24時間の総雨量572mm
芦田川水系中小河川	流域の24時間の総雨量693mm
芦田川水系中小河川（宇津戸川・矢熊川）	流域の24時間の総雨量766mm
江の川水系中小河川 馬洗川ブロック	流域の24時間の総雨量380mm

その他のハザードマップについて

『世羅町ため池ハザードマップ』は、特定農業用ため池が決壊した場合の浸水想定区域、各地区の避難場所を記載しています。災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。『世羅町ため池ハザードマップ』を活用し、災害に備えましょう。



世羅町ため池
ハザードマップ

避難所名	所在地	電話番号
避難所1	甲山小学校(グラウンド)	小笠原 01-22-0038
避難所2	甲山中学校(グラウンド)	黒上 01-22-0037

災害時のための連絡MEMO

集合場所 ご家族などで話し合って記入ください。

災害別	一時避難場所	避難先(第1候補)	避難先(第2候補)
地震			
大雨			



家族などの連絡先

名前	血液型	会社・学校	電話番号

大きな地震など災害時には、電話回線が混み合いつながりにくくなります。各電話会社が提供する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を安否確認にご利用してください。



伝言の登録方法

電話

171にダイヤル

「1」をダイヤル

市外局番+電話番号*

伝言を録音

Web

web171.jpにアクセス

電話番号を入力*

登録ボタン

名前/安否/伝言を登録



伝言の確認方法

電話

171にダイヤル

「2」をダイヤル

市外局番+電話番号*

伝言を再生

Web

web171.jpにアクセス

電話番号を入力*

確認ボタン

伝言内容を確認

*電話番号は被災地の方の市外局番からの電話番号、または携帯電話番号

伝言ダイヤル・伝言板 体験利用提供日 毎月1日・15日/1月1日~3日/1月15日~21日(防災とボランティア週間)/8月30日~9月5日(防災週間)

緊急連絡先

	機関名	所在地	電話番号
役場	世羅町役場	世羅町大字西上原123-1	0847-22-1111
	世羅町役場 せらにし支所	世羅町大字小国3393	0847-37-2111

● 火事・救急は 119番

● 事件・事故は 110番

お問い合わせ

世羅町役場

〒722-1192 広島県世羅郡世羅町西上原123-1

TEL. 0847-22-1111 (代表) FAX. 0847-22-2768

HP. <https://www.town.sera.hiroshima.jp>